

桶川

春に積もる雪?ナンジャモンジャの白い花が開花

城山公園花木園 平成19年に植樹・ゴールデンウイーク頃に満開

桶川市の城山公園の中にある花木園でナンジャモンジャの木(ヒトツバタゴ)が4月下旬から白い花を咲かせました。

この木は平成19年に同市シルバー人材センターが20周年記念で植樹したもので、毎年5月の連休辺りになると白い花がたくさん咲き、枝に白い雪が降り積もったように見えます。

同センターは現在、同公園の指定管理者になっており、メンバー24人が

管理事務所や園内の清掃、花や木の手入れを交代で受け持っています。代で高橋敏二さんは「花や木の専門家がいるというわけではありません」と話します。

花木園では春先の花の少ない時期から福寿草、クリスマスローズなどが咲き始め、ポタン、シャクヤク、ユリ、ラベンダー、ダリアなど次々に花を咲かせ、来園者の目を楽ませています。ナンジャモンジャの木を見に

訪れる人も多く、花の写真を撮っていく姿もよく見られるそうです。

園内には、ほかにたくさんの花や樹木があり、来園者から花や木の名前を聞かれることも多く、木札で名前を表示しています。高橋さんは「この公園は桜もすこいんですよ。ソメイヨシノはもちろんですが21種類の桜が53本もあります。中には緑色の花をつけるギョイコウや、ウコンサクラもあり、毎年開花の時期になると見に来る人もいます。桜の看板も新しくしようと思っっています」と笑顔を見せます。

近所に住む新井重夫さんは公園内を毎日散歩していて、ナンジャモンジャの花が咲いたのを見て、知り合いの矢吹進一さん夫妻に連絡をして一緒に来たそうです。

また、上尾市から来たという親子は「福寿草が咲いたときには来ましたが、ナンジャモンジャの木に花が咲いたのを見たのは初めてです。クリスマスローズも種を付けていますね」と話しました。



たくさん白い花を付けたナンジャモンジャの木を見に来た新井さん(右)と矢吹さん